

トリナ・ストレージ、「Elementa 2」が液冷システムを採用した蓄電池として 業界初の20年ライフサイクル EPD 認証を取得

世界有数のエネルギー貯蔵製品・ソリューションプロバイダーであるトリナ・ストレージは、大型産業用蓄電システム「Elementa 2」において、液冷システムを採用した蓄電池として業界で初めて20年ライフサイクル環境製品宣言 (EPD) 認証を取得しました。本認証は、世界的に有名な安全・認証機関である UL Solutions による厳しい審査を経て発行されたものであり、「Elementa 2」の優れた環境性能を証明するとともに、持続可能なエネルギー貯蔵システムの新たな基準を示します。



■ EPD 認証とは？

EPD (Environmental Product Declaration、環境製品宣言) とは、ISO 14025※に基づく国際基準の環境認証であり、製品のライフサイクル全体 (原材料調達・製造・輸送・使用・管理・廃棄・リサイクル) における環境負荷を定量的に評価するものです。「Elementa 2」は、数カ月にもわたる UL Solutions の独立検証を経て、国際的な EPD 基準を満たしていることを確認し、EPD プラットフォームへの登録を完了しました。

※ISO 14025 は、製品やサービスの環境負荷に関する情報を開示するための国際規格であり、企業が自社の製品やサービスの環境情報を透明性高く開示し、持続可能な消費を促進するための基盤となっています。

■ 20年ライフサイクル評価の意義

今回の認証は、エネルギー貯蔵業界における液冷システムとして初めて、製品の20年間にわたる環境影響を包括的に評価したものです。従来のライフサイクル評価では、主に製造・使用・廃棄の段階に焦点が当てられていましたが、「Elementa 2」の評価では、維持・管理や部品交換が環境負荷に与える影響も考慮されており、より実際の運用に即した環境データが提供されます。

■ トリナ・ストレージの環境配慮型製造体制

トリナ・ストレージは、自動化・デジタル化・インテリジェント化を融合させた「スマートゼロカーボン工場」を構築し、製造工程における環境負荷の軽減に取り組んでいます。特に、工場の電力供給には太陽光発電と蓄電システムを活用し、製造過程の脱炭素化を実現しました。製品1単位あたりのエネルギー消費量を業界平均以下に抑えることで、ライフサイクル全体を通じた環境負荷の削減に貢献しています。

■持続可能な未来への取り組み

今回の EPD 認証取得により、トリナ・ストレージは、環境負荷の軽減と高性能なエネルギー貯蔵の両立をさらに強化し、世界各国で厳しくなる環境基準や、規制への適合を支援します。今後も、技術革新の加速と業界パートナーとの連携を深め、持続可能なエネルギー転換の実現に貢献してまいります。

▽ トリナ・ストレージについて

トリナ・ソーラーは 2015 年からエネルギー貯蔵について研究を進め、ストレージ事業を立ち上げました。そして 2021 年から電池セル・製品・ソリューションという垂直統合型の BESS ソリューションプロバイダーとポジションを明確にしました。現在、トリナ・ストレージはグローバルにおいて、100 以上のパートナーと事業連携があります。交渉中のプロジェクトが 10GWh 以上、完エプロジェクトは 5GWh あり、電池セル、蓄電システム、家庭用蓄電などのコア製品において業界をリードする研究開発・製造能力を有しています。研究開発においては、トリナ・ストレージは蓄電池研究所、電力エレクトロニクス技術研究開発センター、蓄電工学技術センター、デジタルエネルギー研究所という 4 つ研究開発プラットフォームを設立し、アメリカ UL、ドイツ TÜV SÜD、中国 CNAS などからの認証取得済み。製造面においては、中国国内の安徽省滁州、江蘇省塩城に拠点を配置し、スマートスーパーファクトリーを構築することで、製品の量産と効率的なデリバリーを保証しています。

▽ トリナ・ソーラー(SH 証券コード:688599)について

トリナ・ソーラーは太陽光発電およびスマートエネルギーのトータルソリューションを提供するグローバルリーダーです。1997 年に太陽光発電システムのインテグレーターとして設立されたトリナ・ソーラーは現在太陽光発電製品、太陽光発電システム、スマートエネルギーソリューションの 3 つの事業を世界 170 ヶ国以上において展開しています。トリナ・ソーラーは「新しい産業エコシステムを創造し、太陽光発電を中心としたスマートエネルギーソリューションの先駆けになる」という戦略目標を掲げ、電力システム改革を支援し、将来的なゼロカーボン世界の実現を目指しています。

日本においては、2010 年にトリナ・ソーラー・ジャパンを設立してから、国内需要に合わせて最先端のフルライン製品を展開。パートナーの皆様と多数の実績を達成してきました。

Trina Solar トリナ・ソーラー・ジャパン株式会社

〒100-0004 東京都千代田区大手町 2 丁目 6 番 4 号常盤橋タワー2606

<https://www.trinasolar.com/jp>

【本件に関するお問合せ】

トリナ・ソーラー・ジャパン株式会社マーケティング部 胡 wenjing.hu@trinasolar.com